

# 中国株の調整局面で豪州株への再評価広がる

- 米中間の貿易摩擦を巡る不透明感が中国株下落や人民元安へ波及し、世界の株式市場の調整色が強まりつつある。
- 足元の中国株の調整局面で豪州株への再評価が広がる。豪州は米中貿易摩擦の直接的な影響を受けにくい。
- 豪州の内需セクターはサービス業を中心に好調な業況を維持。厳しい競争環境にある小売業の先行きに明るい兆し。
- 割安感のある豪州銀行株と豪州REITに見直し買いの動き。年後半も業績安定の面から豪州株が注目される可能性。

## 中国株の調整局面で豪州株への再評価広がる

米中間の貿易摩擦問題を巡る不透明感が中国株式市場の下落や中国人民元安の加速へ波及し、世界の株式市場は調整色が強まりつつあります。

貿易や投資の面での中国と豪州の経済関係の深さから、「中国株の調整は豪州株の下落要因」との連想が働きやすいものの、実際のところ、足元の中国株の調整局面においては豪州株への再評価の動きが広がっています。

中国株の下落ペースが増した2018年6月の株価騰落率を比較すると、中国株(-8.0%)の大幅下落に連れて、先進国株(-0.2%)や新興国株(-4.6%)も軒並み軟調となる中、豪州株は+3.0%の底堅い上昇となりました(図1)。

### ①豪州は米中貿易摩擦問題の影響を受けにくい

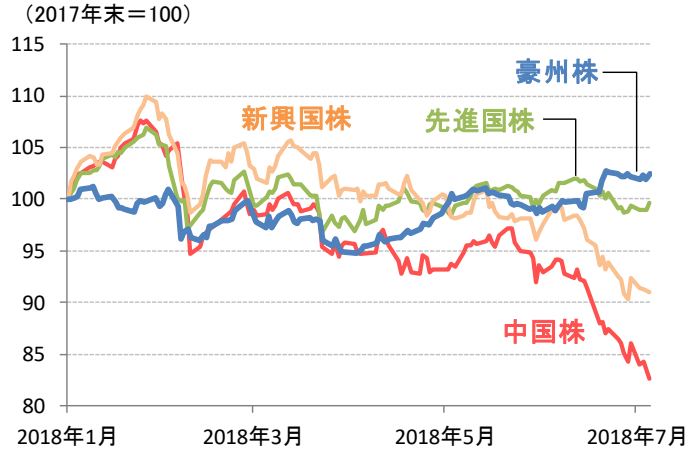
足元の中国株の下落でも豪州株が底堅さを示しているのには、次の3つの背景があると考えられます。

第一に、豪州が貿易摩擦問題の直接的な影響を受けにくい点が挙げられます。深刻化する米中間の通商摩擦の根幹には、ハイテク分野の覇権争いがあるとみられています。一方、豪州の主力の輸出産業は資源(鉄鉱石・石炭・液化天然ガス等)やサービス業(観光・教育等)であり、米中とのハイテク分野での競合関係にはありません。

### ②豪州の内需セクターはサービス業を中心に好調

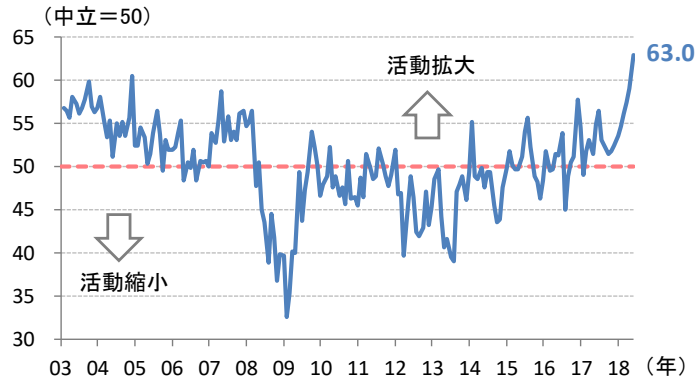
第二に、豪州の内需セクターがサービス業を中心に好調を維持していることが挙げられます。2018年6月の豪州のサービス業景気指数は統計開始来の最高水準へ上昇し、サービス業の活動が堅調に拡大していることが示されました(図2)。足元では、「金融・保険」や「不動産、ビジネス・サービス」、「ヘルスケア、教育、コミュニティ・サービス」などの業況が特に好調となっている模様です。

図1: 豪州株と先進国・新興国株の推移

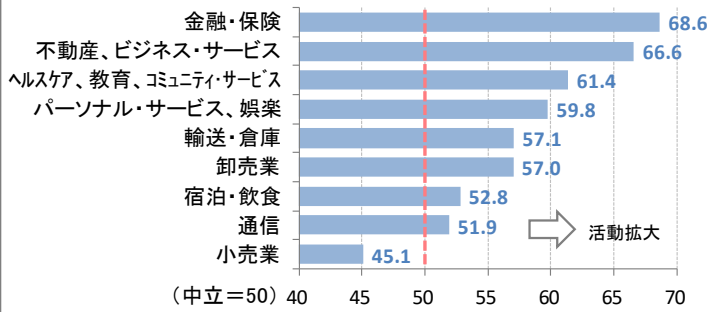


(出所)ブルームバーグ (期間)2018年1月1日～7月5日  
(注)豪州株はS&P/ASX200指数、先進国株はMSCI World Index、新興国株はMSCI Emerging Markets Index、中国株は上海総合指数。

図2: 豪州のサービス業景気指数(PMI)



《業種別景気指数(2018年6月時点、過去3ヵ月平均値)》



(出所)豪州産業グループ(AIG) (期間)2003年2月～2018年6月

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。●当資料に記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。

